

【事例 H26-04-01-03】 広島県福山・府中地域

勤労者のメンタルヘルス対策の推進と地域医療連携事業 ＝実態調査をふまえた取り組み＝

勤労者のうつ・自殺予防対策が重要であるという観点から、勤労者を対象とした実態調査を実施し、その結果をふまえて協議会・研修会等を開催した。

【実施主体】 福山・府中地域保健対策協議会（以下、「地对協」という。）

【大綱の分類】 1) 職場におけるメンタルヘルス対策の推進
4) 心の健康づくりを進める

【事業予算】 1700 千円 (H. 25 年度)

【利点】

- ▼実態調査を行うことで地域の実態や当事者のニーズを踏まえた支援を行うことができる。
- ▼事業所と深いつながりのある労働関係機関と連携することで、行政の取り組みが事業所へ届きやすくなる。
- ▼行政、事業所、産業医、精神科医の集まる場が生まれ、早期発見や復職支援を行う体制の構築や、勤労者に対する効果的な支援方法の検討を行うことができる。

【実施に至るまで】

勤労者を対象とした理由

- ① 福山・府中二次保健医療圏域における 20～50 歳代の勤労者世代の 3 大死因の一つが自殺であった。

計画を立てる上での工夫

- ① 研修会周知や啓発資料配布は労働関係機関（商工会議所、労働基準協会、福山地方雇用対策協議会など）、市町関係（介護保険、障害福祉など）と連携を図り協力を得た。
※地域保健対策協議会及び必要に応じて、圏域内の商工会や地域産業保健センター、市町行政が関係者の連絡を深めた。
※地对協に係る関係機関の他、商工会議所等労働関係機関を通じて依頼したり、地对協ホームページへの掲載、報道機関への情報提供を行い、研修会を広く周知した。
※勤労者世代に届きにくいメンタルヘルスに関する啓発資料（うつ病チェックシートや行政相談窓口等）についても、労働関係機関や事業所等をとおして配付した。

具体的な内容

▼実態調査

<調査概要>

目的 : 勤労者世代に対するより効果的な支援方法等を検討する

対象者 : 圏域内の 20～300 人規模の 18 事業所（従業員 1536 人）

有効回収数 1203 人（78.3%）

期間 : 平成 24 年 9 月 5 日～9 月 30 日

調査内容 :

- ① 悩みやストレスに関すること

② うつに関する意識

③ 地域の社会資源に関すること

※調査項目は協議会の構成員で検討するとともに、県産業保健推進センターから助言を受けて決定した。

実施方法：無記名自記式調

協力可能な事業所を通じて従業員に配布し、封筒で密閉して事業所ごとに回収

※協力可能な事業所従業員の選定方法

- ・ 圏域内の事業所を、従業員規模及び市町別に分類
 - ・ 市町ごとに抽出目安の人数を設定して無作為に抽出
 - ・ 抽出した事業所に訪問し、調査趣旨、目的、実施方法等について説明
(神石高原町については商工会が調査協力を依頼)
 - ・ 調査協力の承諾を得られた事業所の全従業員を対象に実施
- ※労働者のメンタルヘルス対策を推進していこうとしている事業所は協力的であった。(規模の大きい企業は中小企業よりも協力的であった。)

<調査結果>

- ・ 悩みやストレスの原因は、男女ともに7割以上が勤務問題
- ・ 中高年男性はとりわけ悩みを相談することに抵抗感がある
- ・ 精神的症状を抱えながら終了を継続しているものが多数存在する
- ・ 精神科病院の受診への抵抗が強い

▼うつ・自殺対策医療連携研修会及び実態調査委報告会

目的：産業保健と地域保健がより有機的に連携し、うつ・自殺対策の取り組みの一層の促進を図る

日時：平成25年1月29日

内容：「勤労者のストレスと対処法」実態調査報告、メンタルヘルス対策と地域保健・医療との連携をテーマとした講演

参加者：134名(参加者の職種)

※うつ・自殺対策医療連携研修会は1回開催した。参加者の職種は、事業所関係者、医療関係者、行政関係者等。

▼産業保健関係者研修会の開催

目的：事業主を初めとする産業保健関係者と医療保健関係者が、労働安全衛生や事業所におけるメンタルヘルスの取り組みや連携の必要性を学ぶ

日時：①H25.11.8 ②H25.11.26 ③H25.12.3

対象者：産業医、事業主、管理者、衛生管理者、医療関係者

内容：実態調査報告、うつ病やストレス対処法などのメンタルヘルス対策

開催数：3回

▼地域医療連携フォーラムの開催

目的：産業保健・かかりつけ医と精神科医等、地域保健・医療との連携が円滑かつ有効に機能する取組みについての理解を深める。

日時：平成26年1月15日

内容：事業所役員、産業医・精神科医が職場のメンタルヘルス対策について発表

▼その他の取り組み

(1) 産業医・かかりつけ医・精神科医の連携推進手引書の作成・配付

精神科医への紹介方法、精神科を標榜する医療機関の相談窓口や緊急時の対応状況を掲載し、医療機関等に配付した。

(2) 啓発資料の作成・配付

ストレス対処法や相談窓口を掲載した資料を作成し、事業所などに配付した。

【成果】

▼実態調査の結果、①産業医、かかりつけ医、精神科医及び行政との連携推進、②社会資源の周知、③産業医やかかりつけ医に対してうつ病等に関する知識の普及の必要性が明確になっ

た。

▼フォーラムの開催により、早期発見や復職支援職時において事業所、産業医、精神科医の連携が必要不可欠であることを共有することができた

【課題】

- ・事業所内でメンタルヘルス対策への理解が浸透していない（職場全体の課題になっていない、専門スタッフがいないなど）

【事業種別】 パンフレット作成・研修実施・調査

【準備期間・人数】 平成24年度～平成25年度

【予防段階】 1次予防

【自治体規模】 人口 福山市 46.2万人、府中市 4.1万人、神石高原町 0.9万人
財政規模

【自治体負担率】 なし（地域自殺対策緊急強化基金事業）

【事業対象】 企業・医療従事者

【支援対象】 労働者

【実施主体】 福山・府中地域保健対策協議会

【問合せ先】 広島県東部保健所福山支所 保健課保健対策係
TEL：084（921）1311

【参考資料・文献】

[福山・府中地域保健対策協議会](#)

内閣府「勤労者のメンタルヘルス対策の推進と地域医療連携事業」